

が團結して多數の威力に依り資本家を壓する不可なりとし、或は今回の南海電車の如く電車運轉停廢の結果交通斷絶するを忍ぶ能はずする等種々の理由を附會するが如し如何にも労働者が多數の勢を挾んで資本家に或る要求を致すは多數を以つて小數者を壓迫するが如く、自己の欲望を充す爲に労働を停廢して社會に不測の變動を蒙らしめるは自他相依頼して社會を組織し社會的關係を圓滑ならしむるの徳義に背反するが如く、ストライキの爲めに生ずる結果に於て一々考量せんか、一部人士のストライキに對する反感に多少の根據の存するものなしこそす、乍然是等の議論たるや労働者のみに對し嚴格なる労働上の道徳に服することを強要するものにして、一方に於て資本家自ら同一程度の道徳に服従するものならんか、我輩又何等の異説を挾まずも、現時經濟組織の下に資本家の爲す所を見るに必ずしも斯る道徳に一致するものも斷ずべからず、彼等は事業を大規模にし時に「ラスト」「カールテル」を設けて生産物の供給を控制し、以つて物價を騰貴せしむるに非らずや、更に資本家の労働者に對する關係に就て考慮せよ彼等は一時事業を中止し、又は其の規模を縮小するも單に利益の一部を喪失するに止まり、目前に於ける生活の維持に何等の支障を來さざるに反し、労働者は一日の業務を休止すれば直に翌日の生活に苦惱せざるを得ざる地位に居るの結果兩者相對して労働條件を締結するときは資本家たる地位によりて労働者を壓迫し労働者は喰わんが爲に不利なる條件にも甘ぜざるを得ず斯る状態の歴然たる場合に於いて尙ほ一箇の資本家と一箇の労働者とを對立せしむるこゝが果して人の尊重するの道なるか、勢力の相匹する者を對

立せしめて自由競争の利益は始めて之を擧ぐるを得べく、其の均衡を缺ける者は競争を強ゆるが如き、徒らに弱肉強食の弊を生ずるに止まるは論を俟たず、罷業中の南海電車乗務員の結束する同志會の高級幹部は語りて曰く自分達も相當永く勤續するも一ヶ月五十圓に満たず食堂のコックの如き日給一圓二十錢より五十錢、是れで一家を支へ得るや否やと悲痛なる面にて語りたり其反面に會社の或る重役の如きは年十萬圓に相當する收入あるものあり、乍然今回の罷業は經濟組織による要求は表面にして發端は思想問題なるが故に輕々に看過するを得ず經濟組織より述べれば前述の如く資本家に對立して公平なる労働條件を締結せんせば労働者の團結たる組合の必要にして而してストライキは労働團體の有する争闘的方便なり、労働者に嚴格なる徳操を求むる者は須らく資本家階級に同一徳操を教ゆべきなりと思ふ。(七月二十日交通時報)

岡田專務の言に對して榎原會長の意見!

昨今岡田專務の語る處を見るに彼は飽迄頑迷振りを發揮してゐる。吾等が最後の手段として己むを得ず採りし「ストライキ」をして事を起すが爲の舉動であるを意地張つて居る。

吾等が時代の趨勢に無産階級の意識の發達によつて要求する處の日常經濟問題に政治進出の必要を聲明せるに對して彼等が自己の野心を満足せんがため眞向から同志會幹部の指導精神が悪い、殊に同志會員等が政治行動